

先端技術を活用した有明ノリ養殖業強化対策研究委託事業

企画連絡室・ゲノム研究チーム

研究の背景・目的

1. 有明ノリが色落ちするという不作為が顕著となり、対策が急務
2. 同時に、有明海に適応するノリの最適品種作出が重要
3. このため有明海の環境変動に適応したノリ育種に向けたノリゲノム情報の蓄積が必要

研究成果

1. 色素に関する遺伝子がある葉緑体ゲノム配列をほぼ決定
2. マイクロサテライト領域を75個単離しマイクロサテライトマーカーを開発
3. ノリ雌雄細胞で発現に差のあった遺伝子クローンを単離

波及効果

1. 葉緑体ゲノム決定によって色落ち問題解決のための基礎情報整備
2. マイクロサテライトマーカーを利用し育種に向けたゲノム地図作成が可能
3. 水産生物のマイクロアレイを用いた遺伝子解析基礎技術開発

